

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。

そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。

「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。」

わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」

これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いたエルサレムの人々も皆、同様であつ

た。

王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれ

ることになつてゐるのかと問といたました。

かれかれは言いつた。「ユダヤのベツレヘムです。預言者よげんしやがこかう書かいています。

『ユダの地ち、ベツレヘムよ、

お前まえはユダの指導者しどうしやたちの中なかで

決けつしていちばん小ちいさいものではない。

お前まえから指導者しどうしやが現あらわれ、

わたしの民たみイスラエルの牧者ぼくしやとなるからである。』

そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。

そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。

わたしも行つて拝もう」と言つてベツレヘムへ送り出した。

彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立つて進み、

ついに幼子のいる場所の上に止まった。

学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入つてみると、幼子は母

マリアと共におられた。

彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を

おく もの ささ
贈り物として献げた。

ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢で^{ゆめ}お告げがあつたので、
別の道^{べつ みち}を通^{とお}

つて自分^{じぶん}たちの国^{くに}へ帰^{かえ}って行^いつた。